

「第5次朝日町総合計画検討案」に対する パブリックコメントの結果について

パブリックコメントとして提出された意見の内容及びその意見に対する町の考え方について、ご紹介します。なお、総務税務課、保健福祉センター、教育文化施設（図書館）、中央公民館において公表します。また、ホームページにおいても公表しております。

◇募集期間	平成22年9月1日～9月30日
◇意見提出者	2
◇意見数	7
◇提出方法	電子メール 2

【提出された意見の内容と町の考え方について】

検討案全体について

意見の内容	意見に対する町の考え方
<p>■検討原案全体について 第4次から第5次で何を変えたのか、なぜ変えたのかの記述が必要なのではないでしょうか。</p>	<p>今回の第5次朝日町総合計画の策定において気をつけた点といたしましては、これからのまちづくりにおいて最も大きなポイントとなる住民や民間との協働のまちづくり、まちづくり条例の理念に基づく住民参画のまちづくりを進めるため、行政内部の方針としての役割よりも、住民がこれを読み、これに基づいてまちづくりに積極的に参画・協働するための共通目標としての役割を重視したことです。</p> <p>この考えに基づき、第4次朝日町総合計画に比べ、全ての施策において「参画・協働」を重視した施策に変更しているため、施策ごとの変更点等の記述は行っていません。</p>

基本構想について

意見の内容	意見に対する町の考え方
<p>■将来像について 総合計画を拝見させていただきました。 総合的によく検討されていると思えました。 一つご確認いただきたい点がござります。 朝日町の将来の方向が見えないことです。朝日町をどういう町に育てようとしてされているのか。</p>	<p>当町は、ここ数年で宅地開発等を背景にした人口の増加や伊勢自動車道のみえ朝日ICの設置等による交通の利便性の向上、幼保一体化施設「あさひ園」を拠点とする子育て支援の充実に取り組むなど大きな変化を遂げました。</p>

<p>産業の育成、農業の育成、商業の育成などは町の大きさからすれば、不可能です。</p> <p>単なるベッドタウンとしてなら、過去数年に亘り勧められて、成功を収められました。これは高く評価されます。</p> <p>では、この次は何を目指しますか。</p> <p>何に力点を置かれるのか。</p> <p>それを お示しいただきたい。</p>	<p>第5次朝日町総合計画では、これまでのまちづくりの成果や地域資源の特性を最大限に生かしながら、町民と行政の協働を基本に、将来像である「いきいき暮らす 緑と歴史のまち 朝日」の実現に向け、すべての環境のステップアップを進めることを目指します。</p>
<p>■基本構想 第3章 2. 健やかでやさしいまちづくり</p> <p>(2) 高齢者施策の充実</p> <p>高齢化に伴い交通移動手段は車をやめて電動車椅子にしたい。このように考えている人は多いと思われます。しかし、朝日町ではあまり見かけたことがありません。以下を要望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電動車椅子が安全に通行できるように道路を整備していただきたい。老人や車椅子が安心して通行できる歩行帯を設ける。幹線道だけでも。 ●道路側溝に蓋を設置する。J R 関西線 西側の朝日一穂田線など。 ●J R 朝日駅の階段をスロープ化する ●鉄道踏み切りの幅を取り付け道路より幅を広くする。 	<p>歩行帯及び道路側溝の蓋の設置につきましては、前期基本計画 第4章 「第3節 道路交通の充実」の主要施策「(3) 安全で快適な道路づくりの推進」において危険箇所の改善、歩行空間の確保等について記述しており、実施について検討します。</p> <p>また、駅の階段のスロープ化及び鉄道踏み切りの幅の拡幅につきましては、関係機関に要望を行います。</p>
<p>■基本構想 第3章 2. 健やかでやさしいまちづくり</p> <p>(2) 高齢者施策の充実</p> <p>高齢者の日常買い物の便を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●買い物バスの運行 ●買い物代行 	<p>買い物バスの運行につきましては、「基本構想 第3章 4. 利便性のある調和のとれたまちづくり (3) 道路・交通網の充実」において、住民の皆さんが活用できるコミュニティバス等の運行検討など身近な移動手段の確保を図ります。</p> <p>買い物代行につきましては、介護及び福祉サービスとしてホームヘルプサービスがあり、該当者はこのサービスを利用するよう周知を図ります。</p> <p>また、現在配達サービスを実施している民間事業所もあり、多方面に検討します。</p>
<p>■基本構想 第3章 2. 健やかでやさしいまちづくり</p> <p>(5) 健康づくりの推進</p> <p>軽運動をしたり、外気浴、休息、人々との触れ合いなどの場所がない。あっても不便な場所（小高い、僻地など）で役に立っていない。みんなが、利用しやすい場所に適した公園を設けていただきたい。各字に2～3箇所。</p>	<p>公園の設置については、現財政状況から新設公園の設置は非常に困難なため、既設公園をより利用しやすい施設となるよう改修（出入口のスロープ化等）について検討します。</p>

基本計画について

意見の内容	意見に対する町の考え方
<p>■子どもに関する施策について</p> <p>人口増加のスピードは一段落したかと感じていますが、若い世代が移り住んでいるので子どもの増加率は増してくると思います。</p> <p>将来的な基本計画は、少子高齢化の状況に変わりはないかと思いますが、子どもが増加する前期基本計画には子どもの施策等に対する記述を増やして欲しいと思います。</p>	<p>当町の人口推計では、平成22年度末（平成22年3月末）に乳幼児の人口がピークを迎えます。</p> <p>このため、前期基本計画では「第2章 健やかでやさしいまちづくり 第1節 子育て支援の充実」において、総合的な子育て支援施策の展開を図るとともに、子どもの教育については、「第3章 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり 第1節 学校教育の充実」、子どもの健全育成については、「第3章 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり 第2節 青少年の健全育成」で様々な施策を掲げており、次の世代を担う子どもの育成に向けた施策の展開を図ります。</p>
<p>■第2章 健やかでやさしいまちづくり</p> <p>第1節 子育て支援の充実</p> <p>第2章について、子育て支援センターの強化とありますが、成果指標を見る限り強化が感じられません。小さい町なので限界もあるかと思いますが児童に関する相談について、県や近隣の市との連携も含めた対策が必要だと思えます。</p>	<p>成果指標については、子育て支援事業として人口推計に基づいた利用者数予測を掲載していますが、施策において、人員体制の充実など、子育て支援センターの相談・援助体制の強化を図る予定です。</p> <p>また、子育て支援につきましては、関係機関等と連携して、多面的な子育て支援施策の推進を図ります。</p>

第5次朝日町総合計画の 答申が提出されました。

町長から諮問を受け、平成23年度から10年間のまちづくりの指針となる「第5次朝日町総合計画」について審議を行っていた第5次朝日町総合計画審議会（会長：小林慶太郎 四日市大学准教授）は、平成22年11月8日（月）、町長に対し、同計画案について答申を行いました。

同計画案は、答申の内容を踏まえて12月議会に上程します。

